

試験結果報告書

書類番号 T1705-001

題名 SP キャップの引抜強度について

依頼先 弊社担当：高橋 要一

依頼 平成 29 年 5 月 18 日 報告者 セブン工業株式会社 草加工場

報告 平成 29 年 5 月 19 日 試験担当 高橋 要一

1. 目的 SP アンカー施工時における吸音板等の保持力を推定するため SP キャップの引抜強度を調べる

2. 試験 試験方法 一軸引張試験

機材 測定器 IMADA DPS-100R ± 1,000N まで測定可能

試験機 IMADA MV100AC

試験体 SP アンカー 50

SP キャップ 白

接着面からキャップの吸音板に当たる面まで 50mm になるように組立てた 5 個の試験体を試験機を用いてキャップが脱落するまで引抜荷重をかける。測定器は PEAK 表示モードとし、最大引抜荷重を表示させる。参考として、規定よりねじ込みを浅くした試験体 2 種もあわせて引抜試験を行う。

3. 結果 試験体 1 309.2N 試験体 2 315.2N 試験体 3 309.5N
試験体 4 296.2N 試験体 5 296.2N 平均 305N (31.15kgf)
規定より 1mm ねじ込みが浅いもの 313.1N
規定より 2mm ねじ込みが浅いもの 199.3N

4. 考察 5 個の試験体の引抜強度はバラつきなくほぼ一定の値が観察された。また、施工時のキャップねじ込み工程において、多少ねじ込みが浅い (-2mm 程度) ものがあっても 200N (20Kgf) 程度の引抜強度が見込まれる。

ここに記載しました試験結果は当社内で標準的な工程を再現し数値化したものです。実際に使用される環境においては異なる結果となる場合も考えられます。従って、御需要家各位にて十分な御試験、御検討の上、ご使用下さるようお願い申し上げます。